

北海道 富良野市

市民福祉委員会 報告

へそとスキーとワインのまち





市民福祉委員の紹介

富良野市議会
議会報告会

関野常勝

橋詰亜咲美

大西三奈子

後藤英知夫

宮田 均

副委員長

委員長

議会

議会

委員会での調査事項

調査第6号（最終報告済）

「ごみ処理と再資源化の取組について」

調査期間：2023年12月～2024年5月

調査第7号（調査中）

「高齢者の保健事業と介護予防の取組について」

調査期間：2024年6月～

「ごみ処理と再資源化の取組について」

◎富良野市のごみ分別の経過と現状を確認・意見交換

本市では、「燃やさない・埋めない」を基本理念として掲げ、平成13年からごみの分別を14種類として以降、平成12年度では63%だったリサイクル率は大幅に上昇し、現在に至るまで90%前後の高いリサイクル率を維持しています。

令和4年度におけるごみ収集量に対する

富良野市のリサイクル率は**89.24%**

内訳は...

固形燃料製造	35.02%
たい肥化	28.25%
容器包装・有価物	25.97%

ごみの収集から再資源化されるまでの工程を含めて現状や課題把握のため、以下5施設の視察を行っています。

- ・富良野市リサイクルセンター
- ・富良野市一般廃棄物富丘埋立処分場
- ・富良野広域連合環境衛生センター
- ・上富良野町クリーンセンター
- ・栗田工業株式会社の紙おむつの資源化施設

◆ごみ分別の区分【色付は指定袋排出】

- | | |
|--------------|------------|
| ①プラスチック類 | ⑧衛生用品ごみ |
| ②ペットボトル類 | ⑨灰 |
| ③生ごみ | ⑩動物死体 |
| ④空き缶・金属類 | ⑪枝・草類 |
| ⑤空きびん・陶磁器ガラス | ⑫乾電池・蛍光管 |
| ⑥新聞雑誌・段ボール類 | ⑬大型ごみ・電気製品 |
| ⑦固形燃料ごみ | ⑭処理困難物 |

資源回収ステーション及び回収拠点に排出できるごみは無料処理となっています ※①～⑫まで

「ごみ処理と再資源化の取組について」

富良野市リサイクルセンター

昭和63年に建設。平成14年に一度改修された。
施設の**老朽化による今後の設備更新**が課題である。

また、金属類やリチウム電池などの**異物混入による設備破損の問題**を抱えている。

市民の誇りである「**分ければ資源、混ぜればごみ**」とした**分別意識**を本市に訪れる方々も含めて**継続して醸成し続けること**が、施設を大切に使用する意味で重要である。



職員による選別作業の様子

出来上がった固形燃料



富良野市一般廃棄物富丘埋立処分場

平成6年に設置。平成15年に満了予定だったが、本市のリサイクル率向上により、現在も処分場として利用が続いている。廃陶磁器やガラス、灰やリサイクル不適物の塩化ビニールなどを埋立処分。埋立処理率はごみ収集量に対して3%である。

現在3層目の埋立処分が進められ、その容量は残すところ2,500立方メートルとなり、満了予定は4、5年後に迫っている実態を確認した。

今後の維持管理における残余容量を課題として受止め、**処分場の拡張も視野に調査・検討を進めていく必要がある。**



「ごみ処理と再資源化の取組について」

富良野広域連合環境衛生センター

平成15年に建設。
生ごみからたい肥の生産を行うなど**エコサイクルを実現**。
今後は、施設の**長寿命化に向けた計画的な設備更新が必要**。

センターで生産された生ごみたい肥は、平成15年から現在に至るまで、農業者・個人に提供、販売もしている。

【令和4年度販売価格】

農業者へ1立方メートル当たり1,200円

個人に10リットル当たり100円

売り切れになるほど好評で、家庭菜園やガーデニングに広く利用されている。

生ごみ堆肥



上富良野町クリーンセンター

広域で分担して処理を進める当センターでは、本市から出る衛生ごみ全体量（年間約600t）のうち、約490tを焼却処理している施設である。

現在は、沿線自治体含め毎日約11tのごみを受け入れ、そのうち約7.5tの焼却処理をしている。ごみの受け入れ量に余力を残しているが、**施設や設備の老朽化**により修繕の頻度も増えたことから、**新たな施設の建設も視野に調査・検討している状況**である。

高齢化が進み、紙おむつ排出量が増加する中、焼却時の燃焼への影響については、紙おむつが含む水分量により、焼却するごみ全体の水分バランスは良くなり、燃焼への影響は出ていない等の実態を伺うことができた。

また、**燃焼による臭気は出ておらず、有害物質においては、国の基準値を大きく下回っている**。



「ごみ処理と再資源化の取組について」

栗田工業株式会社

現在の紙おむつの資源化処理とは異なり、紙おむつの中にある「し尿」を分離することから、資源化処理後の衛生面や臭気の課題も解消され、再資源化（プラスチック類とパルプとして再資源化される）は着実に進歩している。

分別処理されたプラスチック類は、ペレットとしてトレーなどの製品化のため出荷される。パルプは古紙再生業者に引き渡され、このような取組はリサイクル率の向上と、本市が目指すゼロカーボンシティの実現に向けて大きく寄与するものと考えられる。

紙おむつが資源化処理される工程



市内で回収された
衛生ゴミ（紙おむつ）



投入された紙おむつを
破袋、解体



パルプを除去し、プラスチックを輩出



「ごみ処理と再資源化の取組について」

最終報告



1. 分別に対する意識醸成の促進とリサイクルの見える化について

生ごみたい肥の販売のように、リサイクルの見える化を継続的に行うことにより、**分別やリサイクルに対するさらなる意識醸成**を見込むことができる。

また、国内外からの**観光客や、長期滞在者の分別や資源回収ステーションの使用マナー**が大きな課題となっているが、**ゴミ分別の啓発となるイベント**を、多様な人が集まる場所で開催することで、市民だけでなく、国内外からの観光客や長期滞在者に対しても、意識醸成の促進を図ることができ、今後も**継続的な開催と、様々な媒体を利用した周知・広報を検討されたい。**

また、**資源回収ステーションの管理方法について、利用者相互に意見交換を行う場を設けられたい。**

2. リサイクル率の向上について

枝草類など、有機資源の炭化处理、たい肥化や衛生ごみ、塩化ビニールの再資源化は、リサイクル率の向上と資源の有効活用に向けて重要な要素であり、今後は、**リサイクル技術の進歩を追いながら施設衛生ごみだけでなく、紙おむつなどの家庭衛生ごみと塩化ビニールの再資源化を目指し、調査・研究を行うべきと考える。**

また、**富良野市リサイクルセンターは設備更新に向けた計画策定が必要である。**計画策定にあたっては、AI等の新技術の活用を検討し、選別作業の効率化、特に金属類やリチウム電池等の除去など一層の**異物混入を未然に防ぐ仕組みの確立も検討されたい。**



3. 人口減少と共生社会における取組について

リサイクル率の向上と併せ、**高齢者や障がい者等の分別やごみ出しが難しい市民については、分別やごみ出しを支援する仕組みの提供や、自宅からのごみ収集支援の確立など、家庭からのごみ出しに係る一人ひとりの負担軽減を図る取組を検討されたい。**

調査第7号(調査中)

「高齢者の保健事業と介護予防の取組について」

本市では、「第9期富良野市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を基本に、介護予防・フレイル予防のさらなる推進、高齢者の社会参加と地域の担い手の活躍の場づくりなど、高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施として、高齢者の生きがいきづくり、健康づくりと連動した取組を進めています。

本市の高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施は、全国1,741市区町村から15の好事例のうちの1つとして選ばれ、厚生労働省のホームページに掲載されています。全国でも先進的な取組により、低栄養・生活習慣病等の重症化予防や健康状態不明者への実態把握に加え、老人クラブにおけるフレイル予防やふれあいサロンにおける閉じこもりの予防など様々な効果が期待されています。

現地調査・意見交換

北の峰ふれあいサロン:現地視察 (体操の様子)



富良野市社会福祉協議会:生活支援コーディネーターとの 意見交換 「ふれあい託老事業、サロン・ミニサロン事業」について





調査第7号(調査中)

「高齢者の保健事業と介護予防の取組について」

愛知県議会
常任委員会

中間報告(令和6年第3回定例会)

令和4年度における高齢化率の全国平均29%に対し、本市は35.2%と3人に1人以上が高齢者となっている現状において、令和4年度の後期高齢者の健診受診率は全国平均28.1%に対し、本市は12.51%と全国平均を大きく下回っています。また、介護予防教室などの通いの場における交通手段の確保とボランティア等の若い世代の担い手不足が喫緊の課題となっています。

今後は、継続的な事業展開に加え、健診や通いの場等のデータ分析の促進、ふらの健幸ポイント事業との連携によるポイント付与といった、一層の取組の見える化が必要です。

後期高齢者の健診受診率の向上や、若い世代の担い手育成などこうした取組の見える化に向けて、先進地の事例調査などを行いながら、さらなる調査・研究を深めていくこととします。

都市事例調査 : 10/10愛知県常滑市
10/11京都府八幡市



愛知県議会
常任委員会

北海道 富良野市

市民福祉委員会からの

ご報告とさせていただきます



へそとスキーとワインのまち